

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(鹿児島市)

事業名	夏の星空観察会	実施時期	令和6年8月10日
趣旨又は目的	外部講師を招き、親子で行う月や星座の観察を通して、自然観察の楽しさや体験し、親子や参加者相互の交流を深めることを目的とする。		
参加者	児童生徒、保護者、地域住民、地域コミュニティ協議会等		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成19年より開催。令和6年度で18回目となり、郡山小、校区の夏の伝統行事となっている。本年度は郡山校区コミュニティ協議会、郡山小PTA家庭教育学級が合同で実施した。 ○ 参加者は延べ130名(児童生徒79名, 保護者一般58名) ○ 校区在住の中村哲先生を講師に招き、鹿児島市立科学館の協力を頂き行っている。 ○ 19時に開会し、夏の星空講話を行いながら、夏の大三角やさそり座、人工衛星などを観察する。また天体望遠鏡2機を使い、月や、月のスピカ蝕を観察した。 ○ シートを敷き、郡山小校庭に家庭ごとに座し、星を観察しながら思い思いに夏の夕暮れを楽しんでいた。 		
活動写真 [説明]	<p style="text-align: center;">【夏の星空観察会の様子】</p> 		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(いちき串木野市)

<p>事業名</p>	<p>「青少年育成の日」推進キャラバン</p>	<p>実施時期</p>	<p>6月15・16日及び7月6日に実施</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>「青少年育成の日」の意義を再認識し、子ども会の活動の活性化と地域で子どもを守り育てる環境づくりを推進する。</p>		
<p>参加者</p>	<p>小・中学生 約700名 保護者 約500名 キャラバン隊 約40名(市子連・教育委員・各学校長及び教頭・青少年育成補導員兼推進員・教育委員会職員等)</p>		
<p>活動概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区の子ども会活動を訪問し、活動内容を見学する。 (地域によって開催日が異なる) ○ キャラバン隊からのメッセージを読み上げ、活動に対する激励を行う。 ○ 各地区の活動内容 ニュースポーツ、地引網、田植え、レクリエーション、七夕飾り作成 創作活動、プランターづくり、親子ドッチボール等 		
<p>活動写真 [説明]</p>	<p>キャラバン隊訪問時の子ども会活動の様子</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【地引網】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【カルタとり】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【田植え】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【キャラバン隊より活動の激励】</p> </div> </div>		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(三島村)

<p>事業名</p>	<p>子ども会 海岸清掃</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和6年7月15日</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>青少年の心の教育の一活動として、片泊地区の海岸清掃を実施する。指導者や保護者も一緒になって活動し、多くのゴミが海から漂着する実態を知るとともに、地域の一員として美しい環境を保全する気風づくりを促進する。</p>		
<p>参加者</p>	<p>未就学児 3名 児童生徒 16名 保護者 6名 育成者(指導者) 10名</p>		
<p>活動概要</p>	<p>海岸に続く道の両側斜面にあるゴミや、海岸の岩の間に詰まっているゴミ等を回収・撤去した。安全に気をつけると同時に、暑い中だったので熱中症に気をつけながら清掃を行った。子ども会が中心となり、育成者や地区の方々と一緒にゴミを拾った。角が丸くなった大きめの発泡スチロールがかなりの量あった。また、外国の発泡スチロールや消毒液のボトル、船舶用のウキなども多数打ち上がっていたので、回収した。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[海岸全域を分かれて拾いました]</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[岩の隙間にゴミが挟まっています]</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[今年も沢山回収しました]</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[トラックに積み込んで撤去します]</p> </div> </div>		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(十島村口之島)

事業名	口之島夕涼み会	実施時期	令和6年7月13日(土) (令和6年7月1日~8月31日)
趣旨又は目的	子供たちに、夏の思い出として、屋台や縁日の楽しさを体験させるために、島全体が一体となって夏祭りを実施し、その中で、島民全体の交流を深めるとともに、島の活性化を図る。		
参加者	児童・生徒、職員、保護者、寮監・里親、山海留学生家族、卒業生 島民、十島村役場職員		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童生徒の縁日体験 ② 児童生徒参加のイベント(スリッパ飛ばし、〇×クイズ等) ③ ふるさとづくり実行委員会による屋台提供 ④ 島民による出し物(バンド) ⑤ 抽選大会 ⑥ 花火の打ち上げ 		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>縁日体験を楽しむ児童生徒の様子</p> </div>		

令和6年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(十島村中之島)

<p>事業名</p>	<p>朝のラジオ体操会</p>	<p>実施時期</p>	<p>令和6年7月22日～8月30日</p>
<p>趣旨又は目的</p>	<p>ラジオ番組「ラジオ体操」を利用し、規則正しい生活に心掛ける。</p>		
<p>参加者</p>	<p>児童10名・生徒4名・保護者10名・里親1名・教職員10名 計35名</p>		
<p>活動概要</p>	<p>子ども会での活動は、以下のようになりました</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 子ども会で、ラジオ体操の実施日、ラジオ当番を決める。 2, 朝6時30分前に集合し、ラジオ体操を実施する。 3, 体操後、ラジオ体操カードにシールを貼ってもらう。 4, 夏休み最終日に、出席回数の多かった児童・生徒の表彰を行う。 <p>8月最終週は台風10号の直撃を受け実施できず、表彰は2学期になってから行いました。</p>		
<p>活動写真 [説明]</p>	<div style="text-align: center;">  <p>日之出地区でのラジオ体操の様子</p> </div>		

令和6年度 夏の「郷土^{ふるさと}に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(十島村悪石島)

事業名	「対馬丸の日」の「あおぞら活動」	実施時期	令和6年8月21日(水)
趣旨又は目的	<p>○ 慰霊碑が建てられたことの歴史や人々の思いを理解し、「いのちの尊さ」や「平和の大切さ」について深く考えようとする心を育てる。</p> <p>○ 地域の環境美化に関心を持ち、児童・生徒が自ら進んでよりよい環境をつくろうとする態度を育てる。</p>		
参加者	悪石島学園全校生徒, 教職員, 保護者, 地域住民,		
活動概要	<p>本校の夏の特色ある取組として、「対馬丸の日」の「あおぞら活動」が挙げられる。この取組は島を代表する夏の慰霊祭であり、児童生徒や保護者、地域住民数十名が参列して清掃活動や焼香が行われる。</p> <p>今年度の「対馬丸の日」は80周年記念を迎える。悪石島学園の児童生徒は、60年以上に渡って対馬丸慰霊碑周辺の清掃活動と慰霊の取組を続けている。</p> <p>悪石島の対馬丸慰霊碑は、1962年に佐藤日健人尚によって建てられた。最初の建地から様々な事情で場所を変えたが、二度の移転を経て現在の場所に落ち着いた。「いまだに御霊が沈む、海が見える場所がふさわしい。」という島民の肥後政次郎氏から土地が無償で提供された。縁起碑(1970年建立)、鳩の像(美たま)、地藏、観音像の四基の慰霊碑がある。</p> <p>戦時中、島の人々は海岸に漂着する多くの犠牲者を引き揚げ、埋葬してきた。海で犠牲になった人々への鎮魂の思いをもち続けた島の人々は、たくさんの小さな命が島のすぐそばで犠牲になったと聞き「わが子を失ったのと同様の悲しみを、遺族と同じような気持ちで抱いてきた。」と語っていた。</p> <p>かつて悪石島自治体が主導となって行ってきた慰霊碑を守る取組は、20年程前から悪石島小中学校に委ねられ、慰霊碑やその周辺の清掃維持活動を、毎月1回、「あおぞら活動」と称して総合的な学習の時間に実施している。</p> <p>今後も「あおぞら活動」を通して郷土の歴史を学び、特色ある伝統的な取組を継承していきたい。</p>		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[慰霊碑の清掃活動をする児童生徒]</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[慰霊祭にて焼香する島民の方々]</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[全島民と共に黙祷する児童生徒]</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>[慰霊碑前にて記念撮影]</p> </div> </div>		